peace peace peace

ふなで

発行日　2017年　7月
発行所　社会福祉法人　大阪福祉事業財団
（障害者通所施設）　せんごくの里
発行責任者　せんごくの里　所長　永田 美子
〒597-0051　貝塚市 王子 1183-3
TEL(072)437-1075　FAX(072)437-1076
せんごくの里URL http://www.sengoku-sato.com
白いくもURL http://www.sengoku-sato.com/Cafe_01.html

想いに寄り添い、ともに・・・

この間のマスコミでは、天皇の生前退位や森友学園・加計学園問題などが大きくクローズアップされていました。その一方で、通常国会では社会保障のあらゆる分野で、厚生労働省が掲げる「地域共生社会」の実現に向けた法改正が粛々と進められました。また、平成30年度は3年毎の「障害福祉サービス等報酬改定」の年度でもあり、前回の改定時に約300%削減された「食事提供加算」は、全廃されるのではと危惧しています。

さて、新年度に入りせんごくの里では、5月の中央公民館まつりの参加や、第四中学校との花植え交流。また、軽作業や授産製品作り、「白いくも」の店舗運営などの仕事に精を出しつつ、5～6月にかけて実施した一日外出では、仕事のグループを越えて楽しい時間を共有しました。

私たちは日々、利用者の想いに寄り添い、ともに笑い・悩み・涙や汗を流し、地域の力も借りながら、ゆたかに成長し合える事が喜びです。

制度が変わる中でも、人としての尊厳を守り豊かな援助実践のための運営努力は勿論の事、福祉はサービスではなく、憲法に明記された基本的人権であることを、声高らかに発信していかなければと切実に思います。

永田　美子

福祉情勢コラム

5月26日、「地域包括ケア強化法」が可決・成立しました。これは介護保険法をはじめ、障害者総合支援法・社会福祉法・生活保護法など三十一本の法律の見直しを一括で行うものです。この中で新たに「共生型サービス」の創設が盛り込まれました。サービスの効率化や生産性の向上がその出発点です。具体的には高齢者・障害者・児を一ヵ所の事業所でサービスの提供ができるようにするものです。施設整備の共用化や介護福祉士が保育を担うことができるようするなど、職員の専門性を無視しています。「安上がりな人員配置で複合的ニーズに対応する」もので、本来あるべき社会福祉とは大きくかけ離れたものです。

寺田　恒

新しい職員紹介

大瀧　玲子
調理員

金子喜久枝
看護師

美味しい食事・健康管理
がんばります！！

相談窓口

施設のことや通所相談など、福祉全般の疑問や質問をお気軽に相談してください。

担当　永田

ボランティア募集

せんごくの里でお手伝いをしてくださる方を募集しています。

担当　寺田

お知らせ

11月19日（日）に貝塚ひびきあいまつりを行うことが決定しました。詳細は、次号でお知らせさせていただきます。

皆様、予定をあけてぜひともお越し下さい。

場所＝せんごくの里
ワークセンターすっくの2箇所を予定しています。

福祉のひろばご案内

大阪福祉事業財団では、月刊誌「福祉のひろば」を発行しています。

ご購読を希望される方はせんごくの里まで、連絡をお願いします。

担当　大塚・川瀬

後援会会員募集中

大阪福祉事業財団の応援団になっていただける会員の方々を募集しています。

すでに継続更新・新規加入していただいている方々、まことにありがとうございます。まだまだ受付中です。

同法人の福祉事業の為にも、お力添えを是非ともよろしくお願いいたします。

担当　山野・永松

大阪福祉事業財団後援会

年会費　/　個人1口　3,000円

郵便振り込み番号
「00900－3－14013」

詳しくは、せんごくの里までお問い合わせください

一日外出に行ってきました

「和歌山城」「ワールド牧場」
「ボウリング」「関西空港」
「神戸どうぶつ王国」

永松　享子

公民館まつり ～2017～

公民館まつりも今回で3度目の出演になります。はじめての参加の時には、中ホールで観客2人とさみしい結果になりました。

今回ははじめて、「うたごえ」と「よさこい」の両サークルが揃って出演し舞台に立って皆がひとつになれたような気がしました。

うたごえサークルのピアノ担当の南出さんも練習の成果をいかんなく発揮しました。

よさこいサークルは鳴子を持って『花祭り』を「ラッセーラ、ラッセラー」の元気な掛け声で踊りました。

藤本・飛澤

音楽療法 VOL.14

～気付きについて～

今回は気付きについてお話ししたいと思います。

ミュージック・ケアのセッションでは、メンバーさんが沢山の変化を見せてくださっています。いくつ発見できるだろう？何回ほめることができるだろう？私達のアセスメントの力が問われます。

動作ができた！動作模倣しようとして（手を動かす）方向が変わった！（浦川の）「止まるよ～」の誘導に（自閉症の方が）口をギュッと結んで止まろうと頑張った！（部屋から出ずに）一時間参加することができた！一曲の終わりの拍手ができた！道具を片付けて「おしまい」ができた！手拍子ができた！音楽を静かに聴くことができた！隣の人と手を繋いで活動ができた！リズムが合ったタイミングよく声が出た！

一人一人、必ず変化を見せてくれています。それを見つけることが、寄り添うことや共振することへの第一歩だと感じます。毎回が宝物探しです。

日本ミュージック・ケア協会
認定指導者　浦川暁美

水間駅カフェ

～白いくも出発進行～

水間観音駅に「まち愛カフェ　みずかめ庵　和（なごみ）」という駅の待合室兼ちょっとしたカフェスペースがあります。

縁あって今年の4月から、貝塚市内の障がい者施設が交代で営業することになりました。

白いくもは、火曜日の10時から14時まで店頭に立ち、カフェで培った接客技術を生かし頑張っています。

カフェの一画ではいきいき班の授産製品や他施設自慢のクッキーやパウンドケーキも置いています。

ぜひお知り合いの方にも「こんなカフェがあるんだよ」とお声掛け頂いたらと思います。そして、ご来店はぜひ火曜日に！！

白いくものなかまがお待ちしています。

上出　なるみ